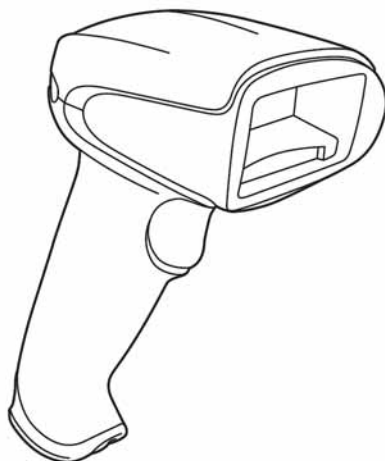


Xenon1900 プラグイン・ソフトウェア 設定ガイド

第1版



株式会社イメージャー
〒333-0811
埼玉県川口市戸塚 2-21-34
アルトピアノ 2F
Tel: 048-456-5381
Fax: 048-456-5382
<http://www.imagers.co.jp/>
Email: infohp@imagers.co.jp

目次

1. プラグインの概要	3
プラグイン構成図	3
2 ソロモン・デコーダー	4
2.1 ソロモン・デコーダーの有効化	4
2.2 ソロモン・デコーダーの設定	5
2.3 ハードウェア・オプション	7
3. GS1・フォーマット	8
3.1 GS1・フォーマットの有効化	8
3.2 GS1 フォーマットの設定	9
3.3 GS1 フォーマットの設定例	10
4. ソロモン・OCR	12
4.1 ソロモン・OCR の有効化	12
5. プラグインの無効化	13
6. 設定ユーティリティー	14

1. プラグインの概要

本プラグイン設定ガイドは、ハネウェル製エリアイメージャー "Xenon1900" の機能向上を目的として、(株)イメージャーが独自に開発を行ったプラグイン・ソフトウェア（以下、プラグイン）について解説を行うものです。

(株)イメージャー独自の画像処理技術 "ソロモン・テクノロジー" によって開発された "ソロモン・デコーダー" は、DPM/2次元コードや、連結QRコードへの対応、そして、高機能かつ柔軟性の高いOCR機能を実現しました。また、データ編集機能として、GS1の出力データを自由にカスタマイズ可能な、"GS1・フォーマット" も搭載しています。

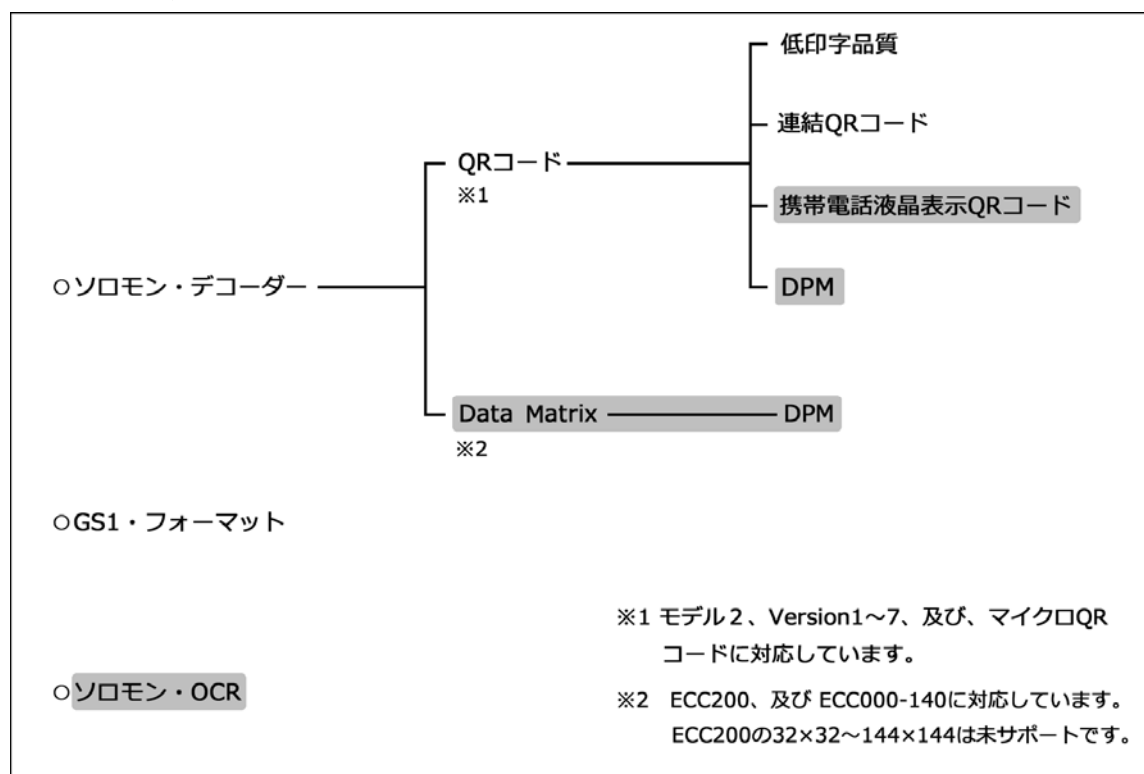
ソロモン・デコーダー及びGS1フォーマットについては、2011年5月以降に、(株)イメージャーが出荷するXenon1900に標準で搭載されています（ ）。

ソロモン・OCRについては、原則として全てカスタム対応となるため、実装はオプションとなります。

出荷状態では、全てのプラグインは無効に設定されています。プラグインを使用するためには、本設定ガイドで解説を行っている有効化設定が必要です。また、プラグイン構成図のグレー枠内の機能を有効するには、ライセンス認証（有償）が必要となります。ライセンスの詳細につきましては、弊社までご連絡下さい。

「プラグイン簡易説明書」が同梱されているXenon1900が対象となります。

プラグイン構成図



グレーの枠内のデコーダー機能を有効にするためには、ライセンス認証が必要です。

プラグインの最新情報は、次のURLにて公表されています。<http://www.imagers.co.jp/plg/>

2 ソロモン・デコーダー

2.1 ソロモン・デコーダーの有効化

はじめに、以下のメニューコードを上から順に読み取り、ソロモン・デコーダーの有効化設定を行って下さい。Xenon1900 の再起動後にソロモン・デコーダーが読み込まれ、使用可能な状態となります。この設定は、Xenon1900 の初期化や、ソロモン・デコーダーの無効化設定を行わない限り維持されます。



ソロモン・デコーダーを有効にする



Xenon1900 の再起動を行う

2.2 ソロモン・デコーダーの設定

現在、ソロモン・デコーダーが対応しているコード種は、


- ・ QR コード
- ・ マイクロ QR コード
- ・ Data Matrix

以上の3種となります。ソロモン・デコーダーのそれぞれ機能と初期状態について、以下の表に示します。

コード種	初期状態	機能	説明
QR コード		低印字品質ラベル対応	印字品質の低い QR コードの読み取りが可能です。
		連結 QR コード / データを編集しないで出力する	連結 QR コードの読み取りパターンを選択可能です。
	-	連結 QR コード / データを編集して出力する	
	-	連結 QR コード / データを一括編集して出力する	
		携帯電話液晶対応	携帯電話の LCD に表示された QR コードの読み取りに最適なデコーダー機能です。
	DPM 対応	レーザーマーキングで印字された QR コードの読み取りが可能です。	
マイクロ QR コード		低印字品質ラベル対応	印字品質の低いマイクロ QR コードの読み取りが可能です。
		DPM 対応	レーザーマーキングで印字されたマイクロ QR コードの読み取りが可能です。
Data matrix		DPM 対応	レーザーマーキング、ドットピンマーキング等で印字された Data matrix の読み取りが可能です。
	-	キャストリング・フィルター	鋳肌面や、梨地面に印字された Data matrix を読み取る場合に、有効にすることで読み取りが改善する場合があります。ただし、読み取りレスポンスが低下する場合があります。
	-	エンボス・フィルター	ドットピンマーキングで印字された Data Matrix を読み取り場合に、有効にすることで読み取りが改善する場合があります。ただし、読み取りレスポンスが低下する場合があります。
		極小コード対応	非常に小さいサイズの Data matrix を読み取る場合に、有効にすることで読み取りが改善する場合があります。







グレーの枠内の機能を使用するためには、ライセンス認証（有償）が必要です。

以下のメニューコードを読み取ることで、ソロモン・デコーダーの設定を初期状態に戻すことができます。

ソロモン・デコーダーの設定を初期状態にする	
-----------------------	---

各プラグインのメニューコードは、それぞれのプラグインが起動された状態でのみ有効となります。

コード種の設定

項目	有効にする	無効にする
QR コード		
マイクロ QR コード		
Data Matrix		

Data Matrix のデコーダー機能を使用するためには、ライセンス認証（有償）が必要です。

連結 QR コードの出力設定（以下より選択）

データを編集しないで出力する	
データを編集して出力する	
データを一括編集して出力する	









ソロモン・デコーダーの連結 QR コード機能を有効にする際には、必ず以下のメニューコードの読み取りを行い、Xenon1900 標準の QR デコーダーを無効に設定して下さい。



巻末に連結 QR コードのサンプルを掲載しています。

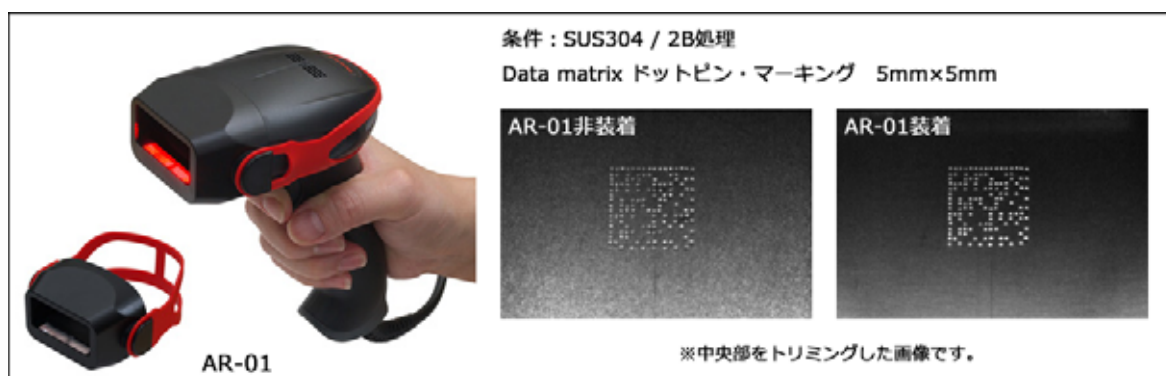
Data Matrix の設定

項目	有効にする	無効にする
極小コード対応		
キャストイング・ フィルター		
エンボス・ フィルター		

Data Matrix のデコーダー機能を使用するためには、ライセンス認証（有償）が必要です。

2.3 ハードウェア・オプション

Xenon1900HD に装着することにより、DPM/2 次元コード向けに最適な照明光が得られる、DPM アタッチメント "AR-01" 及び "AR-02" をご用意しております。それぞれ特性の異なる DPM に向けて照明が最適化されており、DPM の特性に合わせて適切な DPM アタッチメントを選択して Xenon1900HD に装着させることにより、ソロモン・デコーダーの DPM 読み取り機能を最大限に発揮することが可能となります。詳細につきましては、弊社までお問い合わせ下さい。



3.GS1・フォーマット

3.1 GS1・フォーマットの有効化

はじめに、以下のメニューコードを上から順に読み取り、GS1・フォーマットの有効化設定を行って下さい。Xenon1900 の再起動後に GS1・フォーマットが読み込まれ、使用可能な状態となります。この設定は、Xenon1900 の初期化や、GS1・フォーマットの無効化設定を行わない限り維持されます。



GS1・フォーマットを有効にする



Code128 を有効にする



コンポジットを有効にする



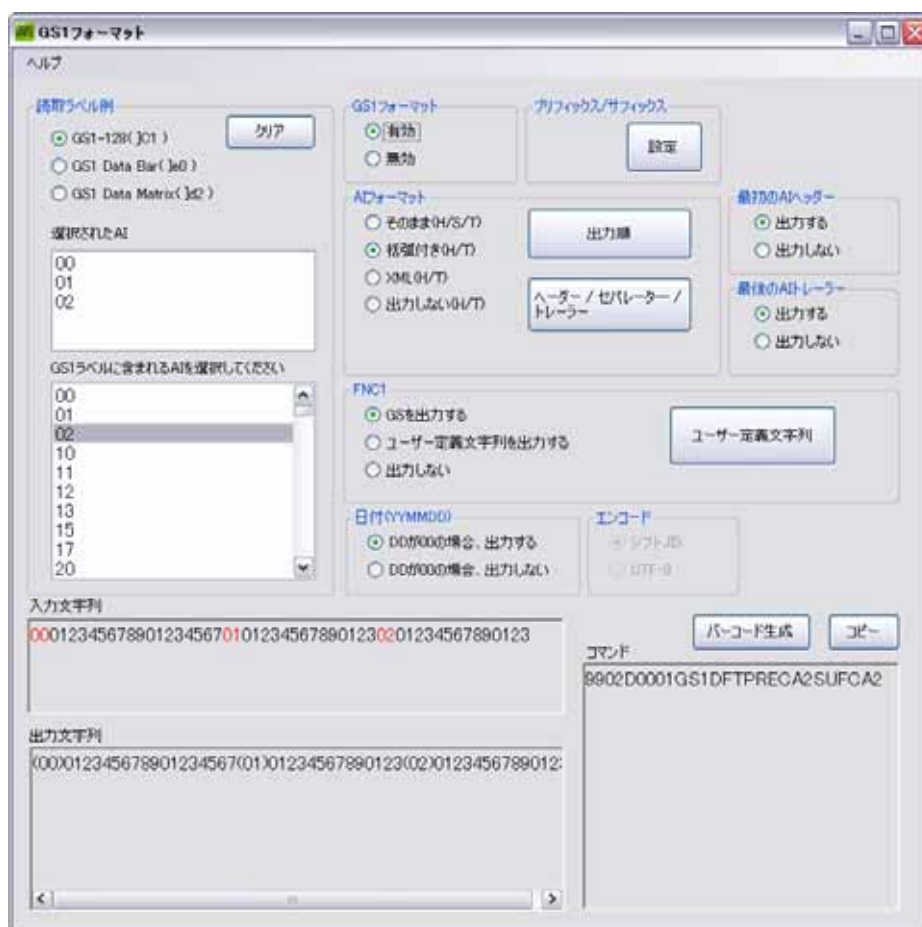
Xenon1900 の再起動を行う

3.2 GS1 フォーマットの設定

GS1・フォーマット設定ソフトウェア "GS1 Format Editor" によって、GS1 の規格に基づき、データ出力のフォーマットを自由にカスタマイズすることが可能です。

"GS1 Format Editor" は、以下の URL からダウンロードすることができます。

<http://www.imagers.co.jp/plg/>



GS1 Format Editor で、希望するデータ出力フォーマットの設定を行った後、"バーコード生成" ボタンを押すことによって、メニューコードが生成されます。GS1・フォーマットが有効化設定された Xenon1900 に、生成されたメニューコードを読ませることによって設定が反映されます。

3.3 GS1 フォーマットの設定例

バーコード例



(01)14912345678901(17)100420(30)100(10)ABC

・ ノーマル出力

0114912345678901171004203010010ABC



AI 識別子 () 付加出力

(01)14912345678901(17)100420(30)100(10)ABC



AI 識別子付きでデータ間を TAB 区切り

0114912345678901 17100420 30100 10ABC



AI 識別子なしでデータ間を TAB 区切り

14912345678901 100420 100 ABC



可変長 GS (Fnc1) を TAB 変換して出力

01149123456789011710042030100 10ABC



4. ソロモン・OCR

4.1 ソロモン・OCRの有効化

はじめに、以下のメニューコードを上から順に読み取り、ソロモン・OCRの有効化設定を行って下さい。Xenon1900の再起動後にソロモン・OCRが読み込まれ、使用可能な状態となります。この設定は、Xenon1900の初期化や、ソロモン・OCRの無効化設定を行わない限り維持されます。



ソロモン・OCRを有効にする



全てのバーコードシンボルの
読み取りを無効にする

(バーコードリーダーとして併用する場合には、読み取りません)



Xenon1900の再起動を行う

- 1 ソロモン・OCRは、標準では実装されません。
- 2 ソロモン・OCRは、他のプラグインと同時に搭載することはできません。
- 3 ソロモン・OCRの詳細設定は、カスタマー毎の個別仕様となるため、本設定ガイドでは省略します。

5. プラグインの無効化

それぞれのプラグインは、以下の設定コードにより無効にすることができます。各プラグインは、これらの設定コードによって一時的に無効化された場合でも、再び有効化された場合には、前回の設定が維持された状態で復帰します。これらの無効化設定を行った後は、必ず Xenon1900 の再起動を行って下さい。



ソロモン・デコーダーを無効にする。



GS1 フォーマットを無効にする。



ソロモン・OCR を無効にする。



Xenon1900 の再起動を行う。

6. 設定ユーティリティー



インターフェースを一時的に USB-COM 設定にする。



Xenon1900 の全ての設定を工場出荷状態に戻す。



AR-01 あるいは AR-02 を装着した場合の照明設定にする。



照明設定を工場出荷状態に戻す。



連結 QR コードサンプル